

地域人材ネット

〈まちの人×ヨソの人〉+〈行政×民間〉
違いを超えて尊重し合う
「共感とケアのコミュニケーション」で地域を活性化

佐藤 幸俊

(

さとう ゆきとし

)

行政協働研究所 代表 官民協働コーディネーター



○ 登録者情報

所在地

埼玉県東松山市

略歴

1965年 生まれ

1988年 フジサンケイグループ サンケイリビング新聞社 入社

編集、営業およびイベント等、15年以上にわたり、地域活性・情報発信に関する実務経験を積む

2005年 行政協働事業部

日本初の官民協働方式による広報誌の制作・発行を契機に、広報・地域創生分野における協働事業を全国各地で展開。100案件を超える企画・運営を担う

くらしHOW研究所 地方創生研究室長を兼任

民間の知見を活かし、自治体職員の業務に役立つセミナー・研修を多数実施

2019年から現在

行政協働研究所を設立

自治体の委員やアドバイザー、研修講師、またシティプロモーションアワード実行委員等を務めるとともに
実地の地域活性に関わる事業の企画・実施を行っています。

著書・論文等

■行政協働研究 ケース・ファイル

「東京のシティプロモーション“足立区流” イメージアップがまちを変えた」

「スポーツで表現するシティプロモーション … 久喜市のケース」

「災害時ペットといっしょの避難が可能に … 柏市のケース」

「シティプロモーションと“言わない”シティプロモーション … 新潟市のケース」

「“攻めた”取り組みが、なぜ出来るのか … 板橋区のケース」

「コロナ禍 自治体の闘い … 那須塩原市のケース」

◆コンテンツ各種

「自治体職員のためのセールス営業術」

「愛されるシティセールス事始め ～ “私のしごと、で市民をしあわせに”」 ● 担当「じゃない」職員向け研修

「私も大丈夫！ やさしいプレゼン実習講座 実践的プレゼンテーションの基礎」 ● 住民向けワークショップ

(業務に活かす シリーズ)

「業務に活かすシティプロモーション 情報+発信 2つの側面を理解・活用」 ● 担当職員向け研修

「業務に活かすシティセールス研修 目指せ！ 一流のシティ“セールスマン”」 ● 全庁職員向け研修

* 防災広報セミナー

〈ふだん→まさか〉に備える地域との繋がり方を考える～進化する災害に、地域一丸となって立ち向かうためいまでできること

〈まちの人×ヨソの人〉+〈行政×民間〉

○ 違いを超えて尊重し合う

「共感とケアのコミュニケーション」で地域を活性化

取組の内容

＜地域活性の第一段階・インフラ整備としての人材育成・職員研修。第二段階・実地の事業組成＝ビジネス構築＞
両面からの支援を行っています

■地域活性の“インフラ整備”

[職員研修][住民ワークショップ]

地域ごとの課題とニーズに応じるさまざまな種類の研修・セミナー、ワークショップを「職員向け」「市民向け」に実施

* 実施実績は下欄に

■地域活性の“実践”

“地域活性3重苦、〈知名度・魅力度・参画度〉が低い ● 新たな魅力創出による地域振興(産業、観光、文化)

[コトづくり] 音楽フェス「麦ノ秋音楽祭」の企画・プロデュース

ローカルレベルではなく、いずれも国内トップクラスのアーティスト・制作会社・デザイナーらによる本格的音楽フェス

埼玉県真ん中・東松山から発信する、新たなカルチャー&ライブ「音楽・ビール・キャンプ」×土地の魅力

自治体、観光協会、鉄道、放送局、大学、地元事業者ら多数のプレイヤーを巻き込みつつ民主導で自走

[モノづくり] 特産品メニュー「HIKIサンド」の開発

山岳地帯と平野部、都市と田園。特性の異なる9つの自治体から成る比企地域の産品を活用した新メニュー

数次のワークショップを積み重ねる中で参加者が気づいた地域の魅力を「比企らしさ」としてメニューに反映

地元のベーカリー、カフェ、生産者、他地域からの参加者などのコラボレーションで開発とその実装を実現

□その他、地域活性・情報発信・シティセールス等に関わるアドバイザー

相談⇄助言、自治体間コーディネーター、大学・メディア・クリエイター・金融機関・産業界など多彩なネットワーク紹介



麦ノ秋音楽祭 フライ



さいたま市 職員研修の様子

実績

- 職員研修、セミナー実施 (のべ500自治体、約1,000名)
 - 「福井県職員研修 目指せ閲読率100%! 魅力的で読まれる広報誌の制作」
 - 「愛媛県 東温市職員スキルアップ講座」
 - 「移住定住促進に関する関西圏向け情報発信に関する懇談会」(大阪)
 - 「千葉県 平成29年度市町村移住・定住担当者研修会」
 - 「埼玉県県央地域振興センター・子育て世代向けの情報発信に関する研修会」
 - 「愛媛県 新居浜市職員研修」
 - 「ふるさと回帰支援センター第442回ふるさと暮らしセミナー」
 - 「HIKIつける魅力再発見プロジェクト」(埼玉県)
 - 「効果的なく情報発信と官民協働)について考える」(兵庫県)
 - 「令和元年度 上尾市シティセールス研修」
 - 「令和2年度<担当者ではない職員向け>上尾市シティセールス研修」
 - 「防災広報オンラインセミナー 令和2,3年」(関東・近畿・九州15自治体)
 - 「さいたま市 シティセールスワークショップ研修」令和4~5年
 - 「埼玉県 スーパー健康長寿サポーターフォローアップ講習」令和4~5年
 - 「群馬県 令和5年度前橋市シティプロモーション研修」

■ 実施事業(抄)

- 麦ノ秋音楽祭(むぎのとき おんがくさい)
- 川越比企地域振興センター東松山事務所「HIKIつける魅力再発見プロジェクト事業」
- 埼玉県東松山市「東松山市市民参画による動画CMプロモーション業務」
- 大阪府豊能町シティプロモーションプラン策定支援業務
- 茨城県TX沿線移住促進事業(県外向けPR)業務
- 栃木県那須塩原市シティセールス業務
- 愛媛県松山市シティプロモーション用フリーペーパー制作事業
- その他多数

工夫した点や苦勞した点

自治体が従来通りの<不足の解消>業務ではなく、地域活性やシティセールスといった<充足の達成>事業に取り組むとき、どこの自治体でも「職員の意識醸成」が常に課題として挙げられます。

私たちは皆「学ぼう」とするのですが、自分では当たり前だと思っている固定観念、暗黙の利害や不合理な感情は誰にでもあり、考えを変えるというのはなかなか難しいものです。

研修でも事業実施においても、「教える」というスタンスではなく、自ら「気づき」を得るために寄り添い力を貸す一介助・介護のように一ヘルパーであらうと心がけています。

ひとことPR

<まちの人×ヨソの人><行政×民間>、世代やジェンダーといった立場や考え方の違いを乗り越えて、「多様で持続可能な地域活性」を実現するために、「圧」ではなく《共感》のコミュニケーションを構築することにより、地域内におけるイノベーションの可能性を高め、地域課題への対応策を生み出す《ケア》をしていきます。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
○ 地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	○ その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
○ その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
○ その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
○ 自治体間連携	○ 効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

行政協働研究所ホームページ	https://www.ppcollab-lab.jp/

連絡先

メールアドレス	info [アットマーク] ppcollab-lab.jp		
---------	-------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。